

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和4年度第1回高松市学校給食共同調理場整備検討委員会
開 催 日 時	令和4年8月19日（金）14時00分～15時00分
開 催 場 所	朝日新町学校給食センター 2階 会議室
議 題	(1) 委員長の選任について (2) 高松市学校給食共同調理場整備検討委員会について (3) 高松市学校給食調理場の整備について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	次田委員、山本委員、赤松委員、赤阪委員、平野委員、中村委員、太田委員、堀委員
傍 聴 者	0人（定員5人）
担 当 課 及 び 連 絡 先	保健体育課 087-811-6300

会議の経過及び結果

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 委員長の選任について

高松市学校給食共同調理場整備検討委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により、次田委員を委員長に決定した。

(2) 高松市学校給食共同調理場整備検討委員会について

(事務局) 資料2の説明

(3) 高松市学校給食調理場の整備について

(事務局) 資料3の説明

意見交換

(委員)

資料3の13ページの今後のスケジュールについて、第2回の委員会で建設候補地について検討するとあるが、事務局である程度選定されるのか。

(事務局)

事務局でいくつかの建設候補地を示し、委員の皆様でそれぞれのメリット・デメリットについて協議いただきたい。

(委員)

資料3の10ページの建設候補地について、牟礼・庵治、香南・香川の各調理場のみの統合に限らず、周辺調理場や他の受配対象校を取り入れるとされている。

資料4で示されている3,000～6,000という食数や、15分以内の配送という条件を踏まえて取り入れていくものだと思うが、例えば、資料5の35ページに示された各エリアの統合想定案における周辺の受配対象校を取り入れた場合に必要となる敷地面積や、これらを取り入れない場合の敷地面積等、いくつかのケースを想定するのか。

(事務局)

食数や配送に関することを踏まえ、近隣の受配対象校を取り入れた場合、例えば牟礼・庵治であれば屋島や古高松を取り入れた場合等について検討した上で、建設候補地を示したいと思っている。

(委員)

建設候補地の用途地域の制限についてもよく確認しておいてほしい。

(事務局)

確認しておく。

(委員)

防災について今回の説明では特に触れていなかったが、例えば震災等があっても一定の能力を維持する等の条件を設定している施設もあるようだが、学校給食センターにおいてはどのように考えればよいか、高松市として定められているものはあるか。

(委員)

資料4の指針において、災害時の炊出し機能について示されているため、今回の整備においてもその方針でよいのではないかと。

(事務局)

今後発生が予想される東南海地震や台風等、災害時における炊出し機能について指針で示されており、今回の整備に当たってもどの程度の機能を持たせるか検討する必要があると思う。また、単なる給食を提供するだけの施設ではなく、あらゆる機能を持ち合わせた調理場の整備を検討する必要があると思う。

(委員)

事業方式について、PFI手法の導入を検討するとなっているが、PFI手法や調理の委託等について、現在の方向性としては白紙であるということによいか。

(事務局)

今のところ白紙で、委員の皆様にご意見をいただきたいと思っている。

(委員)

今回、PPPやPFIの概要を説明されたが、県内の他市でPFI手法を取り入れている事例が多いため、実際の担当の方に聞き取りする等、取り入れてどうだったか実際の声を詳しく説明してほしい。

(事務局)

次回の委員会で県内他市の状況について説明する。

4 その他

(委員長)

これまでの議題や議題以外について意見があるか。

(委員)

朝日新町学校給食センターと六条町学校給食センターの違いは調理業務の委託だと思うが、今後PFI手法を検討するに当たり、その事業内容、調理を委託するかどうか等についてもこの委員会で検討するのか。

(事務局)

PFI手法を導入する場合でも、調理については直営という事例もあり、内容も様々なため、事業内容についてもこの委員会で検討していただきたい。

また、今後、個別基本計画や導入可能性調査を民間事業者に委託して実施する予定で、その結果についてもお示ししたいと思っている。

(事務局)

導入可能性調査はPFI手法を導入することが適正か調査するもので、本市としてもその結果を踏まえて検討を進めたいと思っている。

意見交換終了

(事務局)

本日いただいた意見を踏まえ、次回、建設候補地と事業方式について示すので、委員の皆様を検討いただきたい。次回の検討委員会は10月を予定している。